

# きのこピー



特定非営利活動法人 きのくに子どもNPO 広報誌

2015. 4. 1. 発行

第 34 号  
特定非営利活動法人 きのくに子ども NPO  
640-8401  
和歌山市福島 4 8 7 ルミノール/ふみい1C  
Tel.Fax : 0 7 3 - 4 5 2 - 7 7 1 0  
E-mail : kinokuni.kodomo@nifty.com  
http://homepage2.nifty.com/kinokuni-kodomo/

## ママたちがつくるママたちのための情報紙 「ぐるんぱメール」完成です！

何度もぐるんぱメールの会議を重ね、子育ての悩みはもちろんのこと自分自身のこと、悩みや思いなど、ちょっとぶっちゃけた話も出てきます。そんな中、親たちの共感をよぶ「ぐるんぱメール」が出来上がっていきます。



ぐるんぱメール会議の様子



☆ぐるんぱメール編集委員を体験して☆  
幼い子どもと家で過ごす時間がしんどくて、たどり着いたぐるんぱ。居心地が良くて、入園まで毎日のように通っていました。  
ある時からぐるんぱメール作りに参加させていただくことになりました。初めは自分にはできるのか不安でしたが、同じ子育て中のママたちとテーマを決め意見を出し合っていてうちに、その時間がとても楽しくて、今も参加しています。育児書とは違う素のママたちの話は、参考になることも、時には自分の考えと違いすぎて驚くようなこともあります。迷いながらも頑張っているのは自分だけではないことが実感でき、前向きな気持ちになります。間違ってもいい、迷ってもいい、それも含めて今振り返ってみると私って頑張ってきたよね、と思えるのです。  
素人ママたちで作る「ぐるんぱメール」が一人でも多くのママに届いて、何か少しでもお役に立てることを願っています。(柏田里実)

子育て真っ最中の親だからこそその発信がそこにあり、親同士だからこそお互いに寄り添い支え合う関係が自然に生まれ、子育てに少し前向きになっていく姿も見られます。  
子どもの育つ力が子ども自身の中にあるように親の力は親自身の中にあります。私たちは「ぐるんぱメール」や、「ツイート」「手作りの会」等の活動を通じて、つどいの広場ぐるんぱが「みんなが主体的になれる場」にしていきたいと思っています。(ぐるんぱスタッフ 佐藤百子)



